

平成23年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成22年10月21日

上場取引所 札

上場会社名 豊平製鋼 株式会社

コード番号 5450 URL <http://www.toyohira.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 笹田 幹雄

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役総務部長

(氏名) 三田 広志

TEL 011-661-2151

四半期報告書提出予定日 平成22年11月10日

配当支払開始予定日

平成22年11月29日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第2四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	6,510	0.1	46		28		38	
22年3月期第2四半期	6,504	45.8	468	5.1	483	5.6	533	103.7

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	3.00	
22年3月期第2四半期	41.24	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第2四半期	12,057	10,131	84.0	783.56
22年3月期	12,458	10,242	82.2	792.07

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 10,131百万円 22年3月期 10,242百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期		0.00		5.00	5.00
23年3月期		2.50			
23年3月期(予想)					

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 有

23年3月期の期末及び合計の配当金額は未定であります。

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,200	3.9	30		0	100.0	0	100.0	0.00

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 有

4. その他 (詳細は、[添付資料] P. 2「その他の情報」をご覧ください。)

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

会計基準等の改正に伴う変更 有

以外の変更 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	23年3月期2Q	12,937,000株	22年3月期	12,937,000株
期末自己株式数	23年3月期2Q	6,660株	22年3月期	6,160株
期中平均株式数(四半期累計)	23年3月期2Q	12,930,741株	22年3月期2Q	12,931,340株

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したもので、将来の業績に影響を与える不確実な要因については本資料発表日現在における予測を前提としております。実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。なお、上記の予想に関する事項は、[添付資料] P. 2「連結業績予想に関する定性的情報」をご参照下さい。

【添付資料】

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P.2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P.2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P.2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P.2
2. その他の情報	P.2
(1) 当四半期における重要な子会社の異動の概要	P.2
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	P.2
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	P.2
3. 四半期連結財務諸表	P.3
(1) 四半期連結貸借対照表	P.3
(2) 四半期連結損益計算書	P.5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P.6
(4) 継続企業の前提に関する注記	P.7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P.7
(6) 生産、受注及び販売の状況	P.7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による景気対策や新興国向けを中心とした輸出の回復等により景気回復の兆しがあるものの、欧州発の金融不安の顕在化が新たな懸念要因となり、円高・株安が強まり、また雇用情勢や所得の先行き不安から個人消費の回復も重く、依然として先行き不透明な状況が続いております。道内経済についても一部に持ち直しの動きがありますが、全国的な状況に比べて更に厳しい状況が続いております。

このような経済環境のもと、棒鋼販売数量は増加したものの販売価格の下落により売上高は65億100万円(前年同期実績65億400万円)と前期並みとなりました。損益面では、販売価格低下に加え、原料スクラップ価格高騰の影響もあり、経常損益は28百万円の損失(前年同期実績4億83百万円の利益)、四半期純損益は38百万円の損失(前年同期実績5億33百万円の利益)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

総資産は、運転資金の支出に伴う現金同等物の取崩し等に伴い、前連結会計年度末と比べて4億100万円減少し、120億57百万円となりました。負債は、買掛金の減少等に伴い、前連結会計年度末と比べて2億90百万円減少し、19億25百万円となりました。純資産は、四半期純損失の計上及び配当金の支払い等により、前連結会計年度末と比べて1億100万円減少し、101億31百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

本日公表した「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

なお、期末配当につきましては、通期の業績、設備更新に備えた内部留保及び先行きの業績見通し等を勘案し決定致したく、現段階では未定とさせていただきます。

2. その他の情報

(1) 当四半期における重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

たな卸資産の評価方法

当第2四半期連結会計期間末における棚卸高の算出に関して、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末に係る実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

固定資産の減価償却費の算定方法

固定資産の年度中の取得、売却及び除却等の見積りを考慮した予算に基づく年間償却予定額を期間按分して算定しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

四半期連結損益計算書の表示方法の変更

「連結財務諸表に関する会計基準(企業会計基準委員会 平成20年12月26日 企業会計基準第22号)に基づく「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」(平成21年3月24日 内閣府例第5号)の適用に伴い、当第2四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純損失()」の科目を表示しております。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	114	56
預け金	1,000	-
受取手形及び売掛金	4,057	2,789
製品	534	826
半製品	52	55
仕掛品	8	-
原材料及び貯蔵品	665	689
短期貸付金	-	2,170
その他	232	234
貸倒引当金	4	4
流動資産合計	6,659	6,817
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,273	1,331
機械装置及び運搬具(純額)	2,678	2,853
その他(純額)	1,029	1,033
有形固定資産合計	4,982	5,218
無形固定資産	2	2
投資その他の資産		
その他	416	423
貸倒引当金	4	4
投資その他の資産合計	412	419
固定資産合計	5,397	5,640
資産合計	12,057	12,458
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,069	1,299
未払法人税等	20	16
賞与引当金	242	281
その他の引当金	-	8
その他	454	483
流動負債合計	1,786	2,088
固定負債		
引当金	137	126
その他	1	1
固定負債合計	138	127
負債合計	1,925	2,216

(単位:百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,560	1,560
資本剰余金	1,114	1,114
利益剰余金	7,431	7,534
自己株式	2	2
株主資本合計	10,103	10,207
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	27	34
評価・換算差額等合計	27	34
純資産合計	10,131	10,242
負債純資産合計	12,057	12,458

(2) 四半期連結損益計算書
【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
売上高	6,504	6,510
売上原価	5,747	6,341
売上総利益	757	168
販売費及び一般管理費	288	214
営業利益又は営業損失()	468	46
営業外収益		
受取利息	3	3
受取配当金	2	2
受取賃貸料	3	4
回収品等処分益	-	5
その他	6	0
営業外収益合計	15	17
営業外費用		
支払利息	-	0
その他	0	-
営業外費用合計	0	0
経常利益又は経常損失()	483	28
特別利益		
固定資産売却益	6	3
たな卸資産関係益	-	15
特別利益合計	6	18
特別損失		
固定資産除却損	2	0
減損損失	0	-
会員権評価損	0	-
その他	0	-
特別損失合計	3	0
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失()	487	10
法人税、住民税及び事業税	12	15
法人税等調整額	58	12
法人税等合計	46	28
少数株主損益調整前四半期純損失()	-	38
四半期純利益又は四半期純損失()	533	38

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失()	487	10
減価償却費	416	349
減損損失	0	-
賞与引当金の増減額(は減少)	31	39
貸倒引当金の増減額(は減少)	1	-
その他の引当金の増減額(は減少)	18	2
受取利息及び受取配当金	5	6
支払利息	-	0
固定資産売却損益(は益)	6	3
たな卸資産関係益	-	15
固定資産除却損	2	0
会員権評価損	0	-
その他の特別損益(は益)	0	-
売上債権の増減額(は増加)	1,711	1,267
たな卸資産の増減額(は増加)	4	338
その他の資産の増減額(は増加)	17	11
仕入債務の増減額(は減少)	283	229
その他の負債の増減額(は減少)	278	65
小計	263	956
利息及び配当金の受取額	5	6
利息の支払額	-	0
法人税等の支払額又は還付額(は支払)	108	8
営業活動によるキャッシュ・フロー	149	959
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	308	83
固定資産の売却による収入	8	3
固定資産の除却による支出	-	4
その他の支出	0	0
その他の収入	0	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	300	84
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	-	0
ファイナンス・リース債務の返済による支出	23	3
配当金の支払額	-	64
財務活動によるキャッシュ・フロー	23	68
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	-
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	473	1,112
現金及び現金同等物の期首残高	1,508	2,226
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,034	1,114

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 生産、受注及び販売の状況

セグメントごとの生産、受注、販売実績は、以下のとおりです。

生産実績

品 目	当第2四半期連結累計期間
棒 鋼	94千トン
橋梁・産業機械	569百万円

(注) 橋梁・産業機械事業は、品種が多様なため、生産実績の数量算出は困難により、当該期間の販売実績を記載しております。

受注実績

品 目	当第2四半期連結累計期間
棒 鋼	5,555百万円
橋梁・産業機械	582百万円

販売実績

品 目	当第2四半期連結累計期間
棒 鋼	5,940百万円
橋梁・産業機械	569百万円